

経営比較分析表／団体全体（令和4年度決算）

大分県 杵築市

【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	1,500	極小規模	1	20
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	66.4	1	1,500	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①『経常収支比率』…経常費用が経常収益でどの程度賚られているかを表す指標。100%を上回っており、健全な経営状態にあるといえます。
- ②『累積欠損金』…累積欠損金は、発生しておらず、良好な状態にあります。
- ③『流動比率』…流動負債に対する流動資産の割合で、短期債務に対する支払能力を表す指標。年々減減し、100%を下回る状態に至っています。流動負債の内容は企業債償還金であり、給水収益により償還原資が確保できるため、特に憂慮すべき状態にはありませんが、今後も推移を注視していきます。
- ④『企業債残高対給水収益比率』…給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。類似団体平均値より下回っており、比率は年々減減しています。
- ⑤『料金回収率』…給水に係る費用が、どの程度給水収益で賚られているかを表す指標。100%を上回っていることから、必要な経費を給水収益で賚えているといえます。
- ⑥『給水原価』…有収水量1m³あたりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標。類似団体平均値と比べて低く抑えられています。
- ⑦『施設利用率』…配水能力に対する配水量の割合で、施設の利用状況を判断する指標。ユーザーが1社であり、当該ユーザーの経営環境の変化に大きく左右されますが、近年は低い水準で推移しています。
- ⑧『契約率』…収益性及び未売水の状況を判断する指標。類似団体平均値に比べて高い水準で推移しており、良好であるといえます。

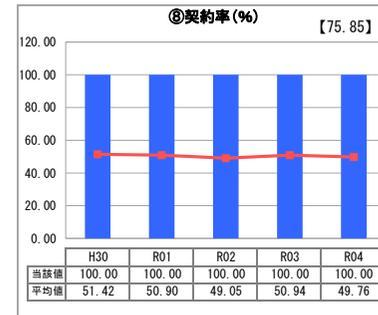
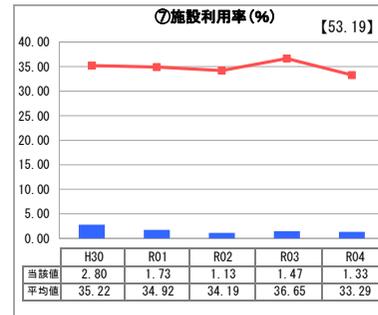
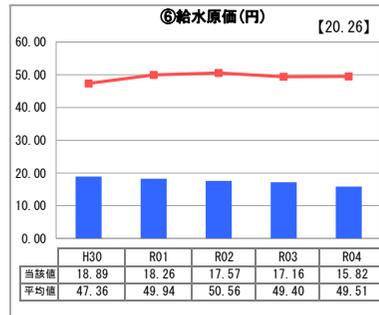
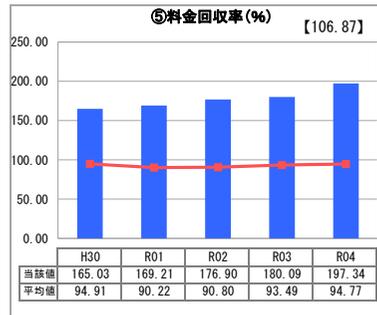
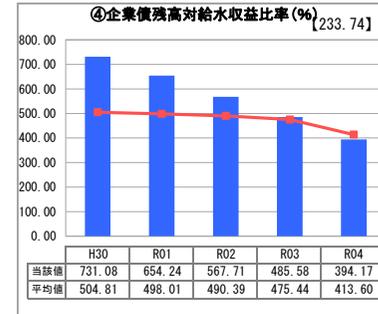
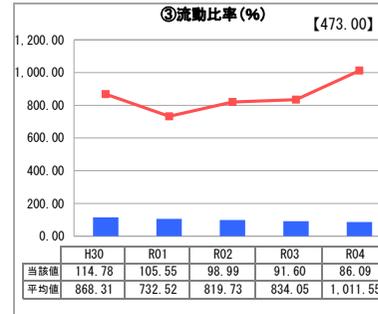
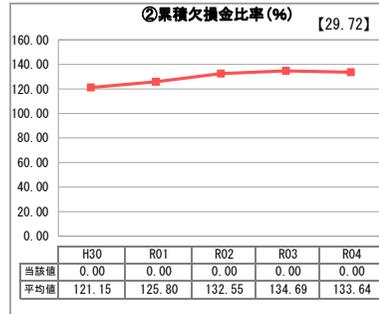
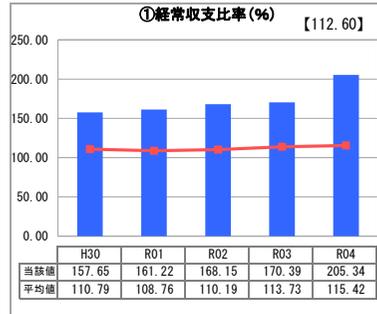
2. 老朽化の状況について

- ①『有形固定資産減価償却率』…有形固定資産のうち、償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。類似団体平均値と比べて低い水準で推移していましたが、近年は新たな設備の整備や更新が行われていないことから、比率は年々増進しています。
- ②『管路経年比率』…法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標。現在、法定耐用年数を超えた管路はありません。
- ③『管路更新率』…当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標。法定耐用年数を超えた管路がないため、更新は発生していません。

全体総括

実使用水量が契約水量に比較して少ない場合でも減額されない「責任水量制」を採用していることから、現時点では、経営の健全性、施設の効率性は概ね確保されているといえます。今後もユーザーの動向を注視し安定的な経営の継続に努めたいと考えます。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

